施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 学校教育課

施策名	09 小中学校教育
政策名	明日を担う「人」を育てる
施策がめざす将来の姿	・児童、生徒が積極的に学び、確かな学力と郷土愛を持ち、グローバルに活躍する未来の担い手が育っています。
	・学校、地域や家庭との連携や協働により、地域ぐるみで児童生徒を育む体制が整っています。

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
小学校が楽しいと感じる児童の割合	%	86.0	91.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	85.20	86.60	88.10		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
中学校が楽しいと感じる生徒の割合	%	84.2	85.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	82.00	86.70	86.50		

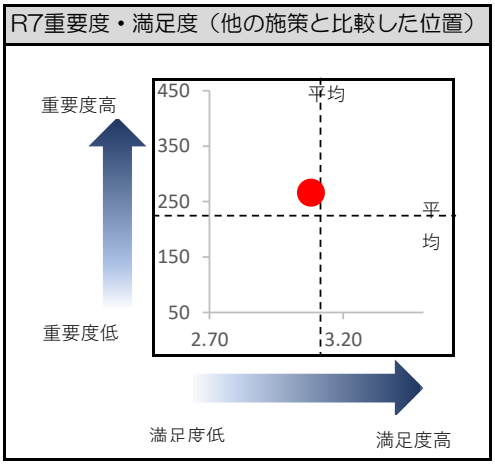
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
266

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
87.5	→	90.1

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

昨年度に比べ、小学校は「学校が楽しいと感じる割合」が高くなりました（中学校は微減）。しかし、小学校は令和9年度の目標値にはまだ及びません。学校ではタブレット端末を活用して、個別最適な学び、協働的な学びを実践しています。また、郷土の歴史や文化、産業を学んだり、主体的な活動を推進したりする「特色ある教育活動」を実践しています。このような取組により、「学校が楽しいと感じる割合」が高くなったと分析しています。一方で、やや減少傾向であるとはいえ不登校傾向の児童生徒が多数います。また、学校に居づらさを感じている児童生徒がいるのではないかと危惧しています。だれもが安全・安心である学校づくり、不登校対策をより一層推進することで、さらに多くの児童生徒が「学校が楽しい」と感じることができるよう、施策を推進していきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに〇、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：ふれあい教室事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
13,257	ふれあい教室事業	→	↗	不登校児童生徒数は減少したものの高止まり状態です。ふれあい教室入級者のうち状況改善児童生徒の割合は高まりつつあります。保護者対象研修会もニーズがあります。今後も、他機関と連携を図り、どこともつながっていない児童生徒にもアプローチできるようにするとともに、よりニーズに応じた研修を行う等、発達相談・教育相談の機能を高めていく必要があります。	〇

事務事業②：フリー教室事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
25,723	フリー教室授業	→	↗	昨年度L教室で学んだ生徒が、希望する進路を実現することができました。また、学級に復帰できた生徒もおり、L教室入級生徒の出席状況が改善しつつあります。設置６校で運営の在り方を工夫し、効果のあった方法は共有するなどして、入級生徒の登校日数増加はもちろん、在籍学級での学習や生活に復帰できるようしていく必要があります。	〇

事務事業③：AET雇用事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
25,981	AET雇用事業	→	→	児童生徒が、ネイティブスピーカーと会話する機会を創出することができています。AETの適切な評価、授業内容等の打合せを行うことで、学習内容の質を担保するとともに、英語でのコミュニケーションにより親しむことができるようにします。	

事務事業④：外国人児童生徒等教育相談員派遣事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
10,863				日本語指導が必要な児童生徒に対して、取り出し指導や入り込み指導を行うことで、授業でのつまずきや、心理的負担を解消することができました。ベトナム語を母語とする児童生徒数が増加しており対応を検討する必要があります。また、派遣するほどの対象者がいない学校においては翻訳機材などによりスムーズなコミュニケーションが図れるように努めます。	

事務事業⑤：外国人児童生徒等初期適応指導教室事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
9,790				関市内小中学校に編入し、生活にかかわる日本語の指導が必要な児童生徒に対して、「フレンズ教室」で日本語の指導を行いました。「フレンズ教室」で学習した後に原籍校に通学することで、児童生徒だけでなく原籍校の負担も軽減することができました。	

事務事業⑥：学校安全づくり事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
16,872	学校安全づくり事業	→	↗	学校安全支援者を配置することで、危険個所の安全確保、ドライバー等への注意喚起を行うことができました。まだ学校安全支援者を配置できていない学校があることから、全学校への配置をめざします。	

事務事業⑦：学校運営サポート事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,130	学校運営サポート事業	→	↗	弁護士による法的根拠に基づいた助言により、学校が抱える様々な課題の未然防止・早期発見につながりました。生徒指導主事や管理職への研修において、これまでの活用例を紹介するなどして、今後の対応に生かしていきます。また、引き続き、学校が弁護士に相談しやすい環境づくりに努めます。	

事務事業⑧：養護教諭複数配置事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
4,876	養護教諭複数配置事業	↗	↗	在籍児童生徒数の多い学校や、課題意識をもつ学校に養護教諭を複数配置することで、よりきめ細かな支援をすることができました。今後はさらに配置する学校を増やしていきたいと考えています。	

事務事業⑨：まなびセンター天文教育事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,738	プラネタリウム投影委託事業	↗	→	根強い熱心なファンが多く、心の豊かさを目指す関市民憲章の柱の一つを担う事業です。令和７年度から業者委託を始めました。今後も、社会教育の観点から事業を継続していきます。	

事務事業⑩：STEAM教育推進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
27,591	ICT支援員雇用	→	↗	ICT支援員のスキルアップにより、学校での各種トラブルに対して迅速かつ適切に対応することができました。また、児童生徒や教職員へのタブレット端末配付を確実に行うとともに、出前授業を通してプログラミング教育の一層の充実を図り、GIGAスクール構想を進化させていきます。	○

事務事業⑪：教育研究事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,050	教育研修事業	→	↗	教職員の資質向上をめざし、研修を精選するとともに多様な形態で研修を設定し、系統的な研修体系を構築することができました。今後は、教職員の専門性がより向上するように、ニーズに応じて研修講座の内容や実施時期を工夫し、幅広く外部講師の登用を検討します。	

事務事業⑫：共生小学校づくり事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
6,918	特色ある学校経営事業	→	↗	地域の文化や伝統、産業を活用し、ふるさとを学ぶ、ふるさとから学ぶ教育活動を、各校で推進しました。各校の創意工夫で充実した事業になるよう、今後も特色ある学校経営を推進していきます。	

事務事業⑬：小学校わかあゆプラン事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
51,900	小学校わかあゆプラン事業	→	↗	わかあゆ講師を配置し、TT指導、少人数指導や複式学級解消等を行いました。きめ細かな指導、教師の専門性を発揮した指導の実現と教職員の働き方改革の推進のために、今後も配置を継続します。	○

事務事業⑭：小学校郷土教育推進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
12,156				日本刀鍛錬の見学や鵜飼い観覧、市内の環境施設、歴史的な施設を見学することで、ふるさと関市を知り、学ぶ機会になっています。今後も事業を継続し、郷土を愛する心を育てます。	

事務事業⑮：小学校特別支援・相談事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
123,259	小学校特別支援・相談事業	↘	→	支援の必要な児童の増加に伴い、学校や保護者からの要望が増えています。通常学級での支援を実現するためには、特別支援アシスタントの配置が有効であると考えています。今後も必要に応じた配置を継続する必要があると考えています。	○

事務事業⑯：小学校遠距離通学助成事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,238	小学校遠距離通学助成事業	→	→	通学距離がおおむね片道４ｋｍ以上あり、関市教育委員会が認めた児童に対して、通学費用を助成しています。今後も、経済的負担を軽減するために、助成を継続する必要があります。	

事務事業⑰：共生中学校づくり事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,647	特色ある学校経営事業	→	→	地域の文化や伝統、産業の活用、生徒の主体的な活動の推進など、特色ある学校経営を各校で推進しました。各校の創意工夫で充実した事業になるよう、今後も特色ある学校経営を推進していきます。	

事務事業⑱：中学校わかあゆプラン

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
542	中学校わかあゆプラン事業	→	→	学校からの要望はあるのですが、講師の専門教科、ご都合やタイミング等が合わず、残念ながら、わかあゆ講師を配置できませんでした。しかし、配置による効果は見込まれること、教職員の働き方改革の推進に有効であることから、わかあゆ講師を確保し、配置の継続を検討します。	

事務事業⑲：部活動地域移行整備事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
13,403	部活動地域移行整備事業	↗	↗	令和７年度末で休日の部活動地域展開完了、令和８年９月から平日部活動の地域展開に向けて、地域クラブコーチネーターを中心にして関市地域クラブ連絡協議会等を実施しました。地域クラブが継続できるよう、地域クラブへの支援のあり方を検討していきます。	

事務事業⑳：中学校水泳指導事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
6,826	中学校水泳指導事業	↗	→	民間屋内プールを利用することにより、天気や気温に左右されることなく、専門的な指導を受けることができています。現在は5月中旬から11月までの実施となっているが、今後は年間を通した利用についても検討を進め水泳事業の充実に向けて検討します。	

事務事業㉑：部活動指導員配置促進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
831	部活動指導員配置促進事業	**廃止**	**廃止**	令和７年度中に部活動地域展開完了になります。また、令和８年度の中学校３年生の部活動引退をもって、平日の部活動においても地域展開する予定であることから、部活動指導員数の任用を縮小していきます。	▲

事務事業㉒：明日を担う人づくり事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
10,377	中学生海外研修	→	↗	関市と海外、関市と他県を比較しながら自分たちが住む関市について見つめ直したり視野を広げることを目的としています。生徒にとってより質の高い研修となるべく、一人一人が探求テーマを設定し、目的意識をもって取り組めるように支援していきます。	

事務事業㉓：中学校特別支援・相談事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
28,602	中学校特別支援・相談事業	→	→	支援の必要な生徒の増加に伴い、学校や保護者からの要望が増えています。生徒の実態把握に基づき、学校での生活支援を行う特別支援アシスタントを適切に配置します。	

事務事業㉔：中学校郷土教育推進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
0	森と木と水の環境教育推進事業	→	→	引き続き、各中学校の実情に応じて事業を実施します。	

事務事業㉕：中学校遠距離通学助成事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
41	中学校遠距離通学助成事業	→	→	通学距離がおおむね片道６ｋｍ以上あり、関市教育委員会が認めた生徒に対して、通学費用を助成しています。今後も、経済的負担を軽減するために、助成を継続する必要があります。	